

新幹線における保線組織の見直しについて 提案を受ける！

【目的】

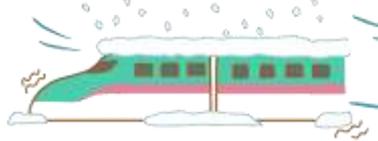
JR北海道、パートナー会社、他系統との連携を考慮し、組織の見直しを行う。

【実施事項】

- ・八戸新幹線保線技術センターを廃止する。
- ・八戸新幹線保線技術センター青森派出を廃止する。
- ・青森新幹線保線技術センターを設置する。
- ・青森新幹線保線技術センター八戸派出を設置する。

【実施時期】

2024年4月1日



【箇所体制】



		現行	改正
		変形等	変形等
八戸新幹線保線技術センター	管理	5	
	一般	32	
青森新幹線保線技術センター	管理		5
	一般		32

【主な議論内容】

組合	会社
目的に書かれている具体的内容は何か。	JR北海道については青森保守基地があり当社と共有している。他の設備系統だけではなく <u>営業統括センターとの関わり</u> も考えている。また、青森は豪雪地帯なので、 <u>機械系統との関係性も重要</u> と考えている。
モニタリング車導入と本施策との関係性はあるのか。	<u>モニタリング車導入と合わせていない。</u>
現体制での課題や問題意識はあるのか。	北海道新幹線開業しての環境変化とすれば、 <u>北からの持ち込み雪や散水消雪の対応がある。</u>
青森の派出であるが故の課題はあったのか。	<u>特別課題があったわけではないが、通常業務以外に新たな付加価値を生み出すために、本所を青森に設置すると考えた。</u>
保守エリアは変わるのか。	<u>保守エリアは変わらない。</u>
出面数が示されているが、現在員はどのくらいか。	総数で34名となる。
現在員数が出面数より下回っているのか。 下回っているのであれば、現時点での課題である。	実際そうなるが <u>業務としてひっ迫しているわけではない。</u> 業務の効率化も合わせて新入社員の確保もしていく。
場所はどこになるのか。	八戸はそのまま、青森は原設備総合事務所の2階に設置する。今年中には完成する予定。

職場からの議論で安全で働きがいのある職場を構築しよう！